

た ち
龍
りゅう

ば な
華
げ



令和5年6月21日(水)第8号

『校長室の窓から』

八尾市立龍華中学校発行



修学旅行報告その2

6月3日(土)9:04。「おはようございます。快晴の宮島です。クラス写真撮影の後、班別の宮島散策に出発します。体調不良等で離団している生徒もおらず、皆元気に活動しています。現地より」。(学年主任による配信メールより)

持参したお金でお土産等を買えるのはこの散策時間だけでした。大きな大きなサングラスや鹿の飾りもの、Tシャツなどを買ってそれぞれ身に着けたり、ジェラートなどを口にしたりしながら、楽しく穏やかに散策の時間を過ごしていた様子の生徒でした。予定された時間を少し過ぎての集合となりました。初めて行く土地で、集合場所がどこなのか、あるいはどれくらいの時間がかかるのか難しいところもあったと思います。集団での行動にあたり再確認を要した活動でもありました。

11:50。「宮島散策を終え、安芸グランドホテルに移動して昼食を摂っています。散策では、班のメンバーとお土産を選んだり、食べ歩きグルメを楽しんだりしていました。昼食後は鳥取に移動し、民泊です。現地より」。(同上)

17:54。「長いバス移動を終え、鳥取県倉吉市に着きました。民家の方々との対面、入村式を経て、民泊に出発していきました。貴重な時間を過ごしてくれることを願っています。現地より」。(同上)

昼食会場の安芸グランドホテルからバスに乗り、途中休憩も入れながら鳥取県倉吉市に着きましたが、道中、体調不良生徒の対応等もあり、民泊体験先の方々と初めてお会いする「入村式」を始めたのは、16:40頃でした。長い時間のバス移動はたいへんだっただろうと思います。38の「家族」に連れられ、それぞれの民泊が始まりました。関金温泉のまちということで、すぐに温泉に入った人やBBQを楽しむ人もいたようでした。私たち教員は夕食後、いくつかの民家を訪問し生徒の様子を伺いました。それと同時に、発熱や頭痛等の体調不良の生徒の診察のため救急医療機関に行ったり、教員本部宿舎で生徒看護にあたりたりしていました。現地のコーディネータさんはたいへんに親身になって対応をしてくださりました。感謝しかありません。丘の上に位置する宿舎には、眼下の田んぼにたたく蛙の合唱が聞こえ、また、澄んだ空気の空にはたくさんの星がきれいに見える、そんな倉吉市の夜でした。生徒の皆さんはどんな夜を過ごしたのでしょうか。

6月4日(日)夜が明けると、私たちは体調不良生徒の医療機関への受診あるいは民家での活動の様子を伺いに東へ西へと駆けるようでした。玉ねぎの収穫や薪割りの体験をした人もいたと聞いています。

10:00。「おはようございます。爽やかな天候の倉吉市です。子どもたちは各家庭で朝を迎え、様々な体験をしています。現地より」。(同上)

13:56。「子どもたちは、民泊先からとても良い顔で帰ってきました。受け入れ家庭の方々との温かい触れ合いのおかげで、『楽しかった』『もう1泊したい』と言いながら、別れを惜んでいる姿がたくさんありました。さきほど退村式を終え、大阪へ向かっています。今のところ予定通り17時ごろに帰校の予定です。大きく時間が遅れることがあれば、また連絡いたします。現地より」。(同上)

本当に温かく受け入れてくださったことは、退村式の様子ではっきりと伝わってきました。「鳥取にひとつ家族が増えた、と思ってください」と話された言葉が忘れられません。

退村式を終え、念のため、体育館のトイレに行きました。男子トイレの入り口にある数足のスリッパがきちんと揃えられた状態でトイレ使用者を待っていました。バスを見送るために倉吉市の人たちは体育館の前にいらっしゃいましたから、『これはきっと、バス乗車前にトイレを使った本校生徒たちが並べて去ったのだろう』と私は思いました。すてきな3年生だと改めて感じていました。

16:02。「ただいま、加西SAを出発しました。予定より30分ほど遅れています。17:30ごろの到着になります。よろしく願いいたします。現地より」。(最後の配信メールより)

生徒の皆さんはどんなシーンが最も印象に残ったのでしょうか。もし、今回、お休みだった生徒も参加できて全員がそろっての行事だったなら、もっとすてきな景色を見ることができたのではないだろうか。

いろいろな人たちのおかげでこの修学旅行は成立しました。いろいろな人たちに深く感謝を申し上げます。何より、平和の意味を考え、「平和」を実践できる人に育ててほしいと強く願います。平和の種をもらい、持って帰りました。それを蒔いたり伝播したりしながら、蒔かれた場所で、花を咲かせ平和の実がなる、そう願っています。

